

22年のレアメタル市場

アドバンストマテリアルジャパン 福田聡社長に聞く

2022年は長期化するコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、為替の急激な円安ドル高など不透明感を強める出来事が発生した。レアメタル市場にはどのような影響があったか、レアメタル専門商社であるアドバンストマテリアルジャパン（AMJ）の福田聡社長に聞いた。

（奥田 啓太）

——今年はウクライナ紛争や円安などあった。需要などへの影響はあったか。

「どちらも国内のレアメタル需要への影響は限

を回避する動きは起こ

らなかったか。

「今年はそのような動

きはなかった。レアメタ

ルは名前の通り『レア』

であるため、世界的に需

要が増えている中で代替

先を急遽確保することも

難しい」

——需要への影響は限

定的とのことだが、円

安による国内価格上昇

——需要分野ごとにつ

いて振り返りを。

「酸化タンタルなど半

導体向けは世界的に増産

基調にあったことで堅

調。ネオジムなど磁石向

けも電気自動車（EV）

への移行が加速している

ため、自動車の生産調整

があったものの、堅調な

推移となった」

——足元については。

せた。

「ウクライナ紛争を背

景とした需給ひっ迫感の

強まりから、価格は2月

にピークとなった。今は

落ち着き始めたが、なお

高値圏での推移が続いて

いる」

——高値が続く要因

は。

「需要の振り返りでも

話した通り、カーボンニ

ュートラルによってレア

メタル需要は増加傾向に

ある。需給要因が地合い

をつくっているとみられ

る。また、採掘コストも

上昇しており、下支えと

なっている」

——来年も同様の相場

環境が続くと考えてよ

いか。

「高値は続くだろう。

ただ注意すべきは中国の

動向だ。中国次第で需給

や相場は変わってくる。

アンテナは高くする必要

がある」

国内需要への影響限定的

「ウクライナ紛争」「円安」



こととなく については。

「レアメタルは輸入品

ードタイプであるため、

ムが増加 上昇したとし

や運賃上 帰はできない。

昇につな 円が1ドル140円

がった」 なたからといて、

——口 達タイミングを

シア産 いうことはなかった」

「下期に入ってから先

行き不透明感は強い。主

要経済国である中国では

新型コロナウイルス感染

者数が急増しており、経

済停滞につながるのでは

ないかと懸念している」

——相場については。

「今年は春から上昇を見

